

2014. 8. 6 読光新聞 (佐世新聞)

191・L9x 0820-40-2931
佐世新聞社 電話 42-3

石木ダム強制収用 実施の明言避ける

佐世保市長

佐世保市の朝長則男市長は5日、県と市が川棚町に建設を予定している石木ダ

ム事業を巡り、反対地権者が立ち退きを拒んでいる現状について、「今の段階では（立ち退き後の）生活再建を含め誠心誠意のお願いを続け、ご理解をいただきたいと考えている」と従来主張を繰り返し、土地の強制収用の実施については明言を避けた。

市議会代表質問で、永田秀人議員（社民）、山下千秋議員（共産）の質問に答えた。

また、同ダム事業での市の実負担額について、谷本薫治・水道局長は、総額276億円と説明。2012年度までに96億円を負担し

180億円とした。

同事業が水道料金に与える影響については「料金は個別の事業だけを捉えて変動するものではない」とした上で、ダム事業費のみの影響額を単純計算した場合、1世帯あたり年間約4000円の負担が生じるとした。